

タイトル： 野洲川の川守りをつなぐ

■中間活動報告書

氏名： 根木山恒平

作成日： 2017年 9月 4日

	年間活動計画	活動結果
背景と昨年度の課題	<p>野洲川のうち最下流部の守山市中洲地区では、地域の長年の要望を受けて、守山市と国交省による「かわまちづくり」（水辺整備）が進行中で、昨年 7 月、（一部エリアは）暫定供用開始され、今年度中に、残りの工事も完了する計画です。</p> <p>地域では、これまでの経過の中で、さまざまな意見があるようですが、中洲学区としては、守山市との間で、維持作業に関する「覚書」を結び、また、利用についても、守山市地域まるごと活性化プランにもとづき、住民チーム「野洲川プロジェクト」にて検討中です。</p> <p>住民有志グループ「なかず野洲川たんけん隊」は 3 年目に入り、住民主体の運営体制へシフトしていきます。</p> <p>今後、住民にとって、野洲川が利用と保全の良好なバランスの中で位置づいていくことが目指されますが、良い流れになるかどうかは予断をゆるしません。</p> <p>行政においても、国、市の複数部署にまたがっており、地域内の意思疎通を含め、行政と住民との日常的な連絡、対話を促し、共通認識をはぐくみ、多様な主体がそれぞれに応分に関わる川づくりが求められます。</p>	
実施目的	<p>（ビジョン）</p> <p>地域住民によって、野洲川での活動が定期的に行われ（野洲川の利用が促進され）、その活動をとらえて、野洲川への住民の関心が高まり、活動フィールドを整備するために、野洲川での清掃・除草作業などに参加、協力する住民有志がある。</p> <p>（ミッション）</p> <p>地域、住民の間に入りつつ、琵琶湖河川事務所や守山市の複数部署にまたがる行政との間の協働にも参画し、野洲川・中洲地区における住民連携の川づくりのつなぎ役として活動します。</p>	
今年度の成果目標	※活動計画で掲げた成果目標に対してこれまでの達成度を A～F（A が達成度最大、F が達成度最低）の 6 段階で自己評価して下さい。また、そのように評価した理由や根拠があれば書いてください。	
とこれまでの達成度	1. 地域住民有志による野洲川での子どもたちの活動（こどもクラブ）を支援し、住民主体の持続可能な活動体制づくりを目指します（2 年後）。	A ・ <input type="checkbox"/> B ・ C ・ D ・ E ・ F 年度初めに話し合いを行い、保護者に主体的に運営に関わってもらえるようになってきた。
	2. 野洲川中洲地区かわまちづくり（守山市・琵琶湖河川事務所）に関わり、地域による利用と保全のバランスの良い活動を目指します。	A ・ B ・ C ・ <input type="checkbox"/> D ・ E ・ F 関係構築が十分できておらず、今後の展望としても見通しが十分もてていない。
	3. 野洲川中洲親水公園の利用者ならびに野洲川の管理用道路を活用した自転車道の利用者へのヒアリングを行い、河川管理者とも意思疎通をはかります。	A ・ B ・ <input type="checkbox"/> C ・ D ・ E ・ F 野洲川中洲親水公園の利用者 40 人からヒアリングをし、河川管理者にも情報提供した。
	4. 野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリングにおいて、他のレンジャーや活動支援室とも連携し、中学校と河川事務所、その他機関との連携を支援します。	A ・ <input type="checkbox"/> B ・ C ・ D ・ E ・ F 年度末～始め～春季調査にかけて、事務所の人事異動の中でうまく引き継いだ。今後は、新任レンジャーに主担当をお任せする方針。

	※当初想定していなかった成果	-
	※これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載して下さい。	
	5年目の活動になり、成果目標（活動個別テーマ）ごとに進捗や課題にはばらつきはあるが、野洲川出張所、河川環境課、管理課、また、中洲会館、中洲小学校などとの意思疎通はスムーズになってきており、情報や課題を共有しながら進められていると思います。	
	年間活動計画	活動結果
活動内容の計画と途中経過	※活動計画で掲げた活動内容に対して、これまでに実際に実施できた事柄、計画していたが実施できなかった事柄、さらに、当初予定していなかったが実施できたことなどを、前述の成果目標の番号と対比して記載してください。	
	① 地域住民有志による野洲川での子どもたちの活動（こどもクラブ） ・運営体制のシフトの方針の確認（4月） ・実際の活動の運営支援（5～12月）	運営体制のシフトの方針の確認は、明確にできた。実際の活動の運営支援も、住民の自発性を基調にしながらやれている。
	② 野洲川中洲地区かわまちづくり（守山市・琵琶湖河川事務所） ・プロジェクト会議への参加 ・維持管理作業への協力 ・利用計画づくりおよび活動実施への協力	プロジェクト会議にオブザーバーとして参加し、事務局（中洲会館）との情報共有、意思疎通はとれているが、住民メンバーとの関係構築は十分にできておらず、いまのところ、会議の推移を見守っている状況。
	③ 利用者へのヒアリング ・野洲川中洲親水公園の利用者 ・野洲川の管理用道路を活用した自転車道の利用者	野洲川冒険大会にて、河川レンジャー支援室のご協力もいただき、野洲川中洲親水公園の利用者に対して、40件のヒアリングができ、河川管理者に対しても情報提供した。
	④ 野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング ・年間活動計画づくりへの協力（河川事務所や中学校の人事異動への対応） ・他のレンジャーや、活動支援室との連携の模索	昨年度末から、今年度頭にかけて、担当課の人事異動が大幅にあり、また方針も中学校の主体性を伸ばす方向にシフトする中で、つなぎ役として仲介し、春季調査を無事に実施できた。7月に着任された新レンジャーとも情報共有、意思疎通をはかり、今後は、レンジャー複数体制で、主担当を新レンジャー、副担当を私がすることで調整ができた。河川レンジャー活動支援室とも応援をいただいている。
	※当初予定していなかったが実施できた	
活動対象に対する関係づくりの途中経過	※活動計画の中で、「活動の対象」として挙げた相手について、これまでにどのような関係づくりできたのかを記載してください。また、当初想定していなかった相手との関係づくりが出来た場合には、そのことも記載してください。	
	① 地域住民 ⇒こどもクラブの運営メンバー（住民有志） ⇒中洲学区・野洲川プロジェクトのメンバー（自治会選出住民） ⇒野洲川の利用者（地域外からの来訪者含め）	こどもクラブの運営メンバーとは、子どもの自然体験や主体的な学びという観点から、価値観を共有し良い関係ができています。野洲川プロジェクトメンバーとは、なにを大切にしたいかなどが十分に把握できておらず、今後の課題である。利用者の声の聴取に努めている。
	② 河川管理者（琵琶湖河川事務所） ⇒野洲川中洲地区かわまちづくりや、河川管理用道路の整備（守山市による自転	野洲川出張所とは情報共有をはかり、意思疎通ができています。その他、河川環境課、管理課、工務課などとも、意見交換会も活用して、

	車道としての活用)、野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング、野洲川の維持管理業務等の各担当課 ③ その他 ⇒中洲学区、中洲会館、中洲小学校、中洲こども園ほか ⇒守山市地域振興課、都市計画課、建設管理課、国県対策課ほか ⇒野洲川冒険大会実行委員会、立命館守山中学校ほか	顔をあわせての情報、意見交換ができています。 中洲会館とは情報共有をはかり、意思疎通ができています。地域振興課は人事異動があり、すこし疎遠になった。むしろ、協働のまちづくり課や、広報課とのやりとりができるようになった。中洲小学校からもご理解とご協力をいただいている。野洲川冒険大会とは、新任のレンジャーとも情報交換しながら、関係構築を進めている。立命館守山中学校との窓口は、新任のレンジャーに担当してもらうことになった。
今年度における今後の課題	中洲学区野洲川プロジェクトとの関係構築が課題。次年度に向けて、年内に「あめんぼうサポート隊」という学区住民を対象とした新たな住民チームを組織する計画をお持ちのため、引き続き、野洲川プロジェクトの会議や活動に同伴して、情報共有と関係構築に努める。 自転車道の整備などの守山市と河川事務所による新しい動きもフォローしつつ、河川事務所で課題としてある河道内の草木の伐採などと言ったテーマも念頭に置きながら、中洲学区住民のほかにも、野洲川の利用と保全にコミットする可能性のある層のリサーチを新任のレンジャーとも情報共有、意思疎通しながら行っていく。	

		年間活動計画											
工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動計画・報告		計画作成						中間報告					活動報告
(1)こどもクラブ		計画	準備	●活動	●活動	●活動	●活動	●活動	●活動	●発表	振り返り		
(2)かわまちづくり		相談	相談	相談	●除草	●除草	●利用	相談	●除草	相談	相談	相談	総括
(3)ヒアリング			意見交換		ヒアリング	ヒアリング	まとめ&伝達						
(4)野洲川河口ヨシ帯再生モニタリング		計画 引継ぎ	●調査			●発表機 会		●調査			●発表機 会	総括 申し送り	

※年間活動計画における工程計画（上段）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定を記載してください。

		活動結果											
工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	活動計画・報告	計画作成					中間報告						活動報告
	(1) こどもクラブ	計画	準備	●活動	●活動	●活動	●活動	●活動	●活動	●発表	振り返り		
	(2) かわまちづくり	会議	会議	会議	会議 ○除草	会議 ○除草	○サポート隊員募集	○サポート隊員募集	会議 ○除草	●利用 (未確定)	○サポート総会	○サポート次年度計画	
	(3) ヒアリング	意見交換			ヒアリング		まとめ&伝達	ヒアリング	ヒアリング		まとめ&伝達		
	(4) 野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング	計画 引継ぎ	●調査		新 R 協議	●発表 機会		●調査			●発表 機会 会	総括 申し送り	

活動工程に関するふり返り
おおむね計画どおりに進んでいる。かわまちづくりは、住民チームの動き次第というところがあり、今後も、臨機応変に対応していく。